

試験日 : 2025年2月22日
入試種別 : 大学院(修士課程)入学試験問題
学部・研究科 : 心理学研究科
科目名 : 専門科目

解答又は解答例

設問 I

1

- (1) m
- (2) o
- (3) c
- (4) b
- (5) i
- (6) n
- (7) m
- (8) a

2

- (2)、(3)、(5)

設問 II

1.

- 1) ①認知(思考)、②感情、③行動
- 2) 動悸、手の震え、発汗、涙が出る、過呼吸など
- 3) ①と③、理由:自分の意志でコントロールしやすいから
- 4) 持続エクスポージャー、トラウマフォーカスト認知行動療法、EMDR、認知処理療法など

2.

1) ランダム化比較試験と訳され、参加者を無作為に複数群へ割り付け、介入の効果を公平に評価する研究手法である。交絡を最小化し因果関係を明確に示すことができる。医学や公衆衛生で広く用いられ、治療や介入の妥当性判断に不可欠で、科学的根拠（エビデンス）を築く基盤となる極めて重要な方法である。

2) インフォームドコンセントは、医療内容や予想される利益・危険性、他の選択肢を説明し、患者（クライアント）が十分理解した上で自主的に同意するプロセスである。医療者と患者の協働と信頼を支える基本原則とされる。現代医療においては、患者の自己決定権を守り、安全で納得のいく治療を実現するため不可欠な倫理的枠組みである。

3) コンプライアンスは、医師の指示に従い処方薬の服用や治療計画を受動的に守る姿勢を指す。一方アドヒアランスは、患者（クライアント）が治療の目的や必要性を理解し、医療者と協力して主体的に取り組む能動的な姿勢を示す概念で、継続的な治療成果に重要とされる。

設問Ⅲ

1. 【採点又は評価のポイント】

○障害児支援の基本理念は、「障害の有無にかかわらず、全てのこどもは大切にされ、基本的な人権が守られ、差別されないことが前提とされている」ことが述べられている。

○障害児支援に携わる者は、「全てのこどもに関わるこども施策の基本理念に加え、障害のあるこどもの育ちと個別のニーズを共に保障するため、以下に示す障害児支援の基本理念を理解した上で、こどもや家族へのウェルビーイング・エンパワーメントを前提とした支援、関係機関や地域との連携に当たっていくことが求められている」ことが述べられている。

○障害児支援の基本理念については、以下に示す事項①から⑤を踏まえて述べられている。

- ① 障害の特性を踏まえたニーズに応じた発達支援の提供
- ② 合理的配慮の提供
- ③ 家族支援の提供
- ④ 地域社会への参加・包摂（インクルージョン）の推進
- ⑤ 事業所や関係機関と連携した切れ目のない支援の提供

2.

a. テストバッテリー(test battery)

【解答例】

テストバッテリーとは、クライアントを多面的・重層的に捉え、全体的に理解するため

に、心理アセスメントにおいて使用する心理検査を複数組み合わせることで包括的に実施することを指す。テストバッテリーを組む際には、検査目的を明確化し、量的・質的な側面の双方を考慮したうえで適切な測定ツールを用いることが重要である。(149字)

b. デブリーフィング(debriefing)

【解答例】

心理検査の手順として検査者がクライアントに対して行う検査実施後のデブリーフィングとは、検査後の様子や疲労度・負担感等の心身の状態を確認することと、検査の解釈には一定の時間を要することの説明や検査結果がフィードバックされる過程に関する情報の伝達をクライアントの心情に配慮しつつ丁寧に行うことである。(148字)

設問IV

1 【採点又は評価のポイント】

1) リストカットについて

- ・リストカットは、小学校高学年から見られ、中学・高校生に多く見られるものである、切る部位は、手首が多いが、腕や足、肩などもある。
- ・リストカットを1回行うと、繰り返し行っていく常習性が見られる
- ・必ずしも自殺を意図したものではなく、つらい感情から解放されたいという意図が強い、ただしエスカレートすると、自死に至る場合もある。
- ・周りの人に影響を与え、伝染する可能性がある。

2) 対応

- ・まずは、リストカットをしないと耐えられないほどのつらさ、苦悩を抱えていることを受容的に理解し、現状について話を聞く
 - ・リストカットの頻度、程度（傷の深さ）、部位などを尋ねて、自死に至る可能性があるかのリスクアセスメントを行う。
 - ・リストカットの事実を、家族や友人、先生が知っているかを確認し、できれば担任や養護教諭と共有したいことを伝えて、了解を得る。
 - ・学校内で、関係する先生方と情報を共有し、チームとして関わっていく。
- 等の流れを踏まえて、記述されているか。

2 心理学用語

1) モデリング：バンデューラが学習について、社会的学習理論の視点から検討を行い、他者の行動を観察することから得られる情報の機能、つまり内的な認知的要因に基づいて生じる学習があると考え、これをモデリングと呼んだ。

2) 社会的絆理論：ハースによって提唱された理論であり、人が犯罪や非行に走らないのは、身近な人たちや社会に繋がりとめられているからであると考え、社会的絆として、愛着、コミットメント、巻き込み、規範、の4つがあげられている。

3) 系列位置効果：系列学習において、系列の順序の違いによって学習成績に影響が見られるということである。つまり、想起において冒頭部分はリハーサルが行われやすく、想起の成績がよい初等効果が見られる。系列の末尾部分では短期記憶から想起が可能であり、親近効果により成績が良くなる。